

交番速報



N0.53号

令和7年6月9日発行
責任者 交番長
作成者 交番相談員

大雨によって どんな災害が起きるのか

梅雨入りして、さっそく大雨の予報が静岡県でも発表されています。

対策するにも、相手たる災害を知らなければリスクが想像しにくいと思いますので、今回は大雨による災害を見ていきたいと思います。

またそれぞれの災害に対する防災気象情報をご紹介します。

【大雨によってどんな災害が起きるのか】

土砂災害	浸水害（内水氾濫）	河川氾濫
		
急傾斜地で発生する山崖崩れ、土石流、地すべり等	雨水の排水が追い付かず、周囲よりも低い場所やアンダーパスなどに水が溜まる	河川の堤防越水、堤防決壊などによる氾濫

【防災気象情報】

等に起因する停電や断水、その他災害考えられます

気象状況	土砂災害・浸水害	河川氾濫	警戒レベル
数十年に一度の大雨	大雨特別警報	氾濫発生情報	警戒レベル5～緊急安全確保 ・直ちに安全確保
	土砂災害警戒情報	氾濫危険情報	警戒レベル4～避難指示 ・危険な場所から全員退避
大雨の数時間～2時間程度前	大雨警報 洪水警報	氾濫警戒情報	警戒レベル3～高齢者等避難 ・危険な場所から高齢者等は避難
大雨の半日～数時間前	大雨注意報 洪水注意報	氾濫注意情報	警戒レベル2 ・自らの避難行動を確認
大雨の数日～約一日前	早期警戒情報 (警報級の可能性)		警戒レベル1 ・災害への心構えを高める

参考：気象庁「大雨や台風に備えて」



ハザードマップでは、土砂災害、河川氾濫による洪水は確認できるけど、浸水害（内水氾濫）については必ずしも確認できるものではないので、
「ハザードマップでうちは色がついていないから大丈夫！」ではないことにも注意！